

Ⅲ. 学校選択制の検証について

1. 学校選択制の検証について

(1) 検証の目的

学校選択制は平成17年度に制度が導入され、導入後は原則として3年毎に制度検証を行うこととされており、制度導入後9年目の今年度については、3回目の検証になります。

検証にあたっては、毎年度学校選択制により入学した児童生徒の保護者に対して選択した動機などアンケート調査を実施しているほか、今年度は選択制を利用せずに指定校に入学した児童生徒の保護者や、今後小学校に入学予定の子を持つ保護者などを対象として広くアンケート調査を行いました。

これにより、学校選択制の課題や問題点を整理し、学校選択制をよりよい方向に進めていくため検証作業を実施します。

(2) 検証の方法

①平成23～25年度学校選択制により入学した児童生徒の保護者アンケート

学校選択制についての考えや、入学後の学校生活などについてアンケートを行いました。

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
調査対象者	89人	96人	112人
	小学校：54人 中学校：35人	小学校：56人 中学校：40人	小学校：59人 中学校：53人
調査方法	配布：郵送、回収：郵送		
調査期間	平成23年8月23日 ～9月30日	平成24年9月13日 ～10月10日	平成25年7月4日 ～9月5日
回答者	42名	59名	53人
	小学校：27人 中学校：15人	小学校：35人 中学校：24人	小学校：27人 中学校：26人
回答率	47.2%	61.5%	47.3%
	小学校：50.0% 中学校：42.9%	小学校：62.5% 中学校：60.0%	小学校：45.8% 中学校：49.1%

②平成20年度以降に選択制を利用せず入学した児童生徒の保護者に対するアンケート

指定校に入学した理由や選択制の隣接校方式、選択できる学年などについての調査を行いました。

調査対象者	小学1年生～中学3年生で入学時に選択制を利用しなかった児童生徒 8,710人のうち1,000人
抽出方法	上記の中から、学年別、男女別、学校区別に無作為抽出
調査方法	配布：郵送、回収：郵送
調査期間	平成25年7月4日～9月5日
回答者	360人（小学校251人、中学校109人）
回答率	36.0%（小学校39.5%、中学校30.0%）

③ 今後小学校に入学予定の子どもの保護者に対するアンケート
学校選択制の認知状況や選択制の隣接校方式、選択できる学年などについての調査を行いました。

調査対象者	0歳～5歳の未就学児4,869人のうち 500人
抽出方法	上記の中から、学年別、男女別、学校区別に無作為抽出
調査方法	配布：郵送、回収：郵送
調査期間	平成25年7月4日～9月5日
回答者	235人
回答率	47.0%

④ 学校選択制に関する学校アンケート

市内小中学校長に対して、選択制のメリットやデメリット、隣接校方式、選択できる学年、制度導入による変化などについての調査を行いました。

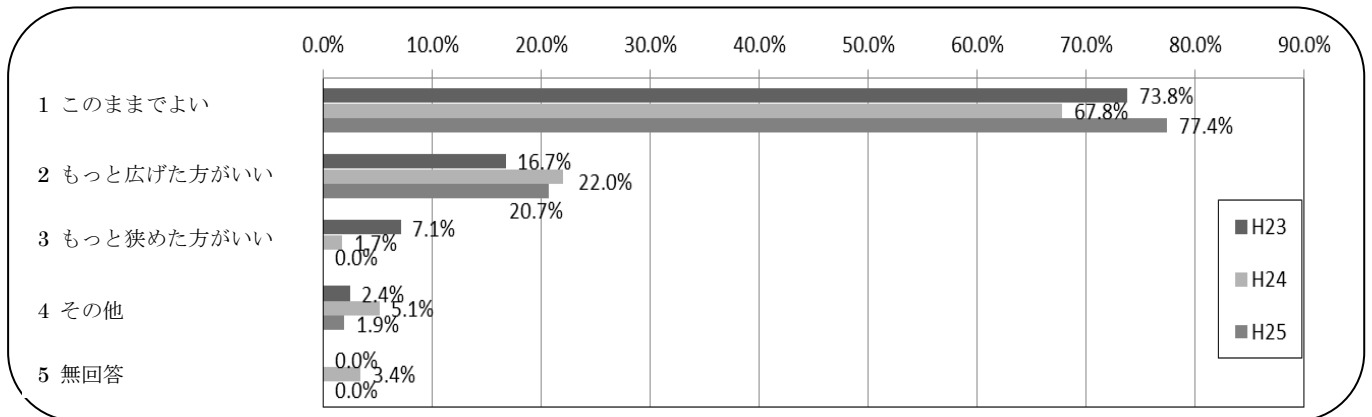
調査対象者	市内全小中学校長
調査方法	各学校に配布、回収
調査期間	平成25年7月4日～9月5日
回答者	27校
回答率	100.0%

2. アンケート調査の結果

(1) 平成23～25年度学校選択制により入学した児童生徒の保護者アンケート

[資料1～28頁]

問2. 現在の学校選択制（隣接校方式）についてどう思いますか？



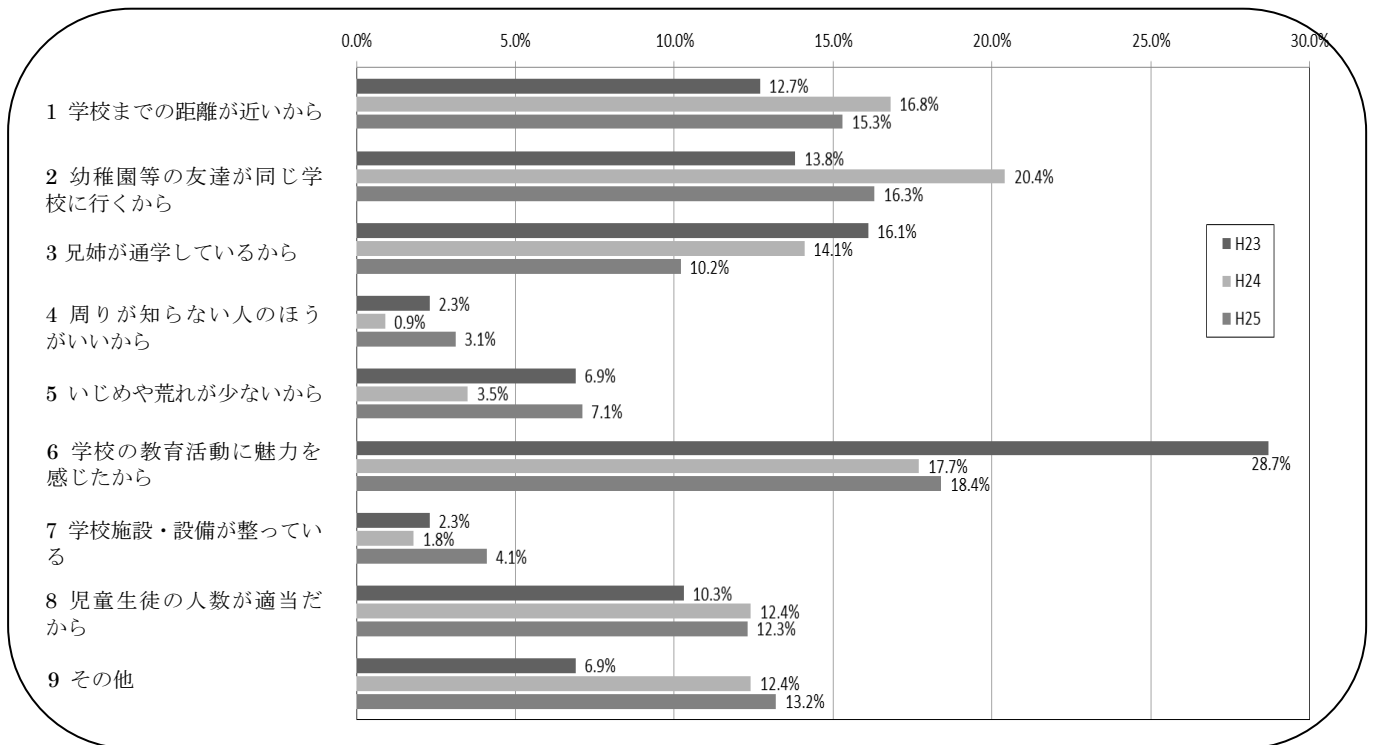
◎「このまま（隣接校方式）でよい」と回答した方が小中ともに最も多く、3か年平均で小学校が約82%（前回82%）、中学校が約61%（前回61%）でした。

◎「広げた（全域制）ほうがよい」と回答した方は、3か年平均で小学校が約12%（前回15%）、中学校が約30%（前回28%）でした。

◎「狭めたほうがよい」と回答した方は、3か年平均で小学校が約3%（前回0%）、中学校が約2%（前回1%）でした。

「このまま（隣接校方式）でよい」と回答した方全体の3か年平均は73%となり、前回調査時（約74%）とほぼ同じ割合でした。

問3. 学校をどのような理由で選びましたか？（複数回答可）



◎3か年平均では、学習内容やクラブ活動などの「教育活動に魅力を感じたから」が最も多くなっています（約21%）。

◎次いで、「学校までの距離が近いから」と「友達が同じ学校に行くから」が多くなっています。

前回調査（平成22年）に引き続き、「教育活動に魅力を感じたから」と回答した方のうち、中学校ではクラブ活動を理由に選んでいる割合が高くなっています。

小学校では、「幼稚園等の友達が同じ学校に行くから」と回答した方の割合が最も高くなっています。（3か年で平均約21%）

問4. 入学した学校で取り組んでいる、魅力ある学校づくりや特色づくりについて知っていますか？

◎入学前から「知っていた」と回答した方は、3か年平均で約43%ですが、現在「知っている」と回答した方は、3か年平均で約84%でした。

入学後は多くの方が取り組みについて知っていましたが、各学校の魅力ある学校づくりや特色づくりについて知っている方の割合は、年々減少傾向にあります。

問5. 学校は最終的に誰が決めましたか？

◎小中ともに、「親子で相談」と回答した方が最も多く、3か年平均で小学校が約46%、中学校が約52%でした。

◎小学校では次いで「保護者」が約36%で、中学校では次いで「本人」が約44%でした。

問6. 学校を選択する際に、悩んだ点はありましたか？

◎小学校では「なかった」と回答した方が多く、3か年平均で約61%でした。

◎中学校では、平成25年度に「あった」と回答した方の割合が、「なかった」と回答した方の割合を上回りました。悩んだ主な内容としては、希望する学校への通学方法や近所の子どもとの人間関係が希薄になる恐れがあること等でした。ちなみに、3か年平均は「あった」は約47%、「なかった」は53%でした。

問7. 学校を選択する上で、学校情報として参考にしたものは何ですか？

◎「友人・知人等からの話」が小中ともに最も多く、3か年平均で約35%でした。

◎次いで「学校一斉公開日の学校見学」が約21%、「学校案内(冊子)」が約19%でした。

問8. 学校への主な通学手段は何ですか？

◎「徒歩」が小中ともに最も多く、3か年平均で小学校が約81%、中学校が約67%でした。

◎次いで「保護者の送迎」が3か年平均で小学校が約8%、中学校が約14%でした。

問9. 学校への登下校の際、不便を感じることはありますか？

◎「ない」が小中ともに多く、3か年平均で小学校が約73%、中学校が約56%でした。

問10. 学校生活の面で困っていることはありますか？

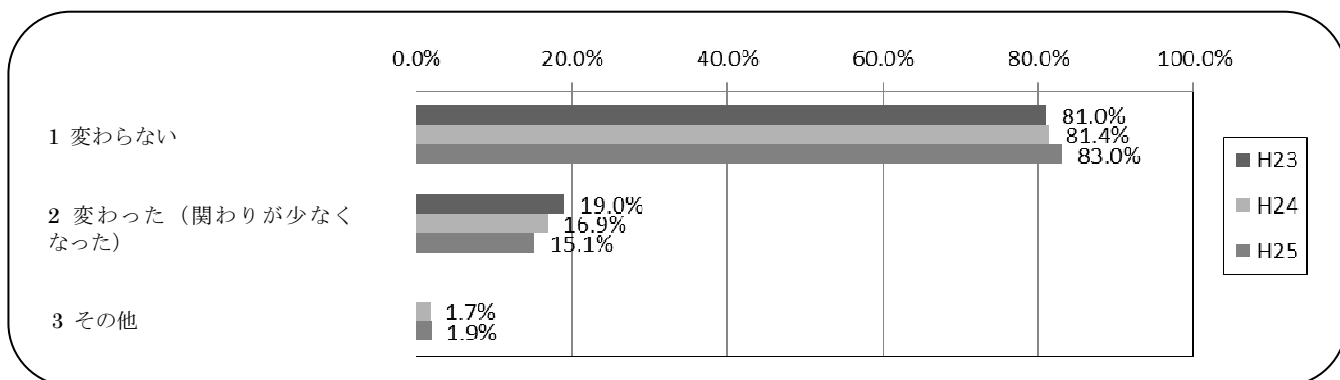
◎「ない」が小中ともに多く、3か年平均で小学校が約88%、中学校が約80%でした。

問 1 1. 保護者の方は、入学した学校のPTA事業活動をしていますか。

◎小学校では「活動している」が多く、3か年平均で約69%でした。

◎中学校では「活動している」は、3か年平均で約55%でした。

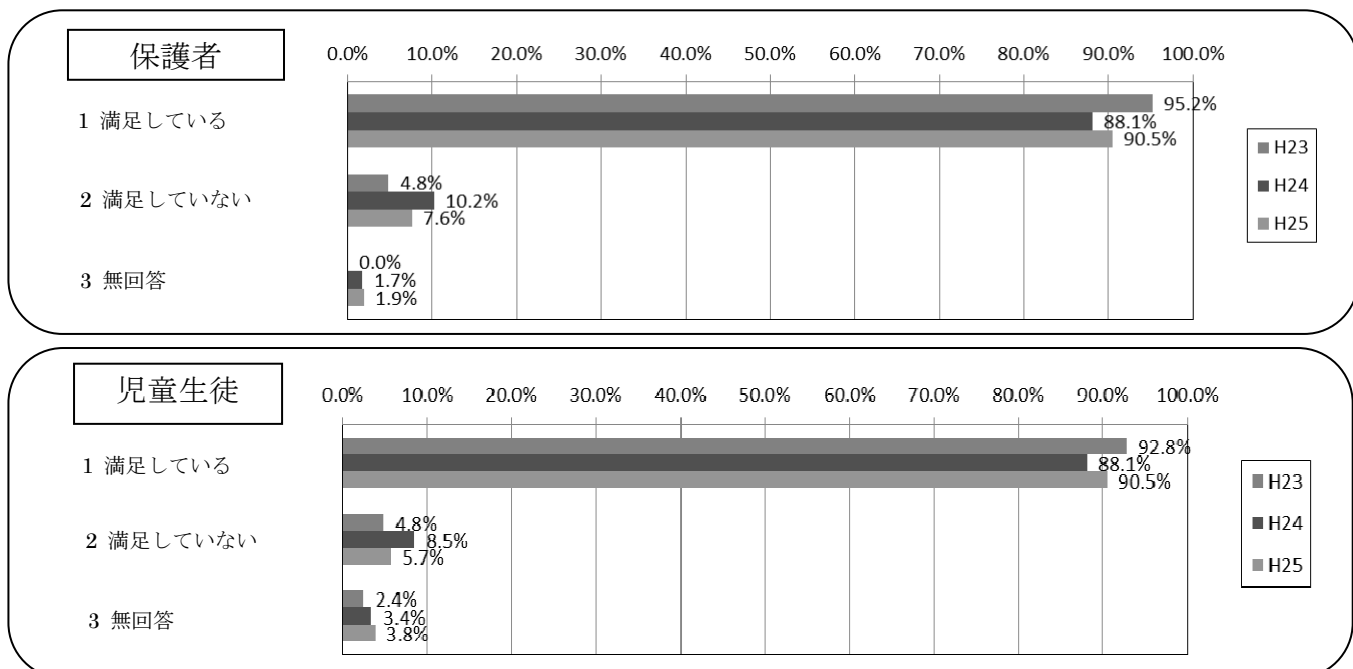
問 1 2. 入学後、居住地での地域活動は変わりましたか？



◎「変わらない」と回答した方が小中ともに多く、特に小学校では3か年平均が約91%でした。

学校選択制では、地域とのつながりの希薄化が心配されますが、選択制で入学した児童生徒の保護者のほとんどが「以前と変わらない」と感じていることが分かりました。

問 1 3. 学校を選択し、現在の学校に入学した結果、どのように感じていますか？



◎保護者、児童生徒ともに大多数の方が「満足している」と回答しています。

学校選択により入学した児童生徒と保護者は、学校選択したことに高い満足感を持っていることが分かりました。

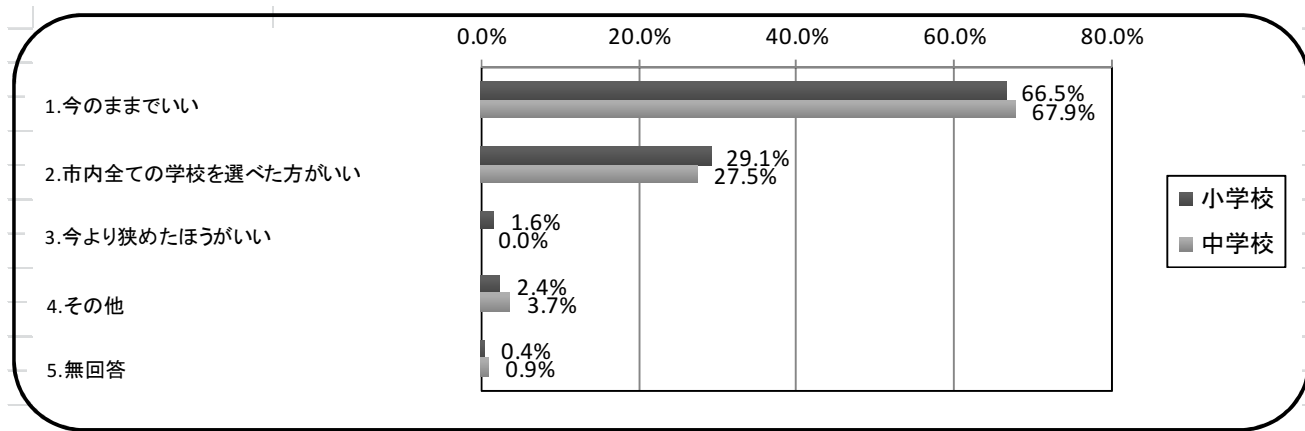
(2) 平成20年度以降に選択制を利用せず入学した児童生徒の保護者に対するアンケート〔資料29～40頁〕

問4. 学校選択制を利用せず、現在の学校（指定校）に入学した理由は何ですか？

◎「指定校に行くのが、学校生活を送る上で良いと思ったから」が小中ともに最も多く、小学校で約42%、中学校で約51%でした。

◎次いで「校区で決まっているから」が多く、小学校で約24%、中学校で約32%でした。

問5. 選択できる学校の範囲として校区と隣接する地域の学校（隣接校方式）としていますが、この方式をどう思いますか？



◎「今のままでいい」と回答した方が小中ともに最も多く、小学校で約67%（前回65%）、中学校で約68%（前回55%）でした。

◎次いで「市内全ての学校を選べたほうがいい」と回答した方は、小学校で約29%（前回32%）、中学校で28%（前回39%）でした。

前回調査（平成22年）よりも増して、小中ともに「隣接校方式のままでいい」という意見が市内全域制を望む意見を上回りました。

問6. 問5で「今のままでいい」と回答した方。理由は何ですか？

◎「実際に通学するうえで妥当な範囲だから」が小中ともに最も多く、小学校で約78%、中学校で71%でした。

問7. 問5で「市内全ての学校を選べた方がいい」と回答した方。理由は何ですか？

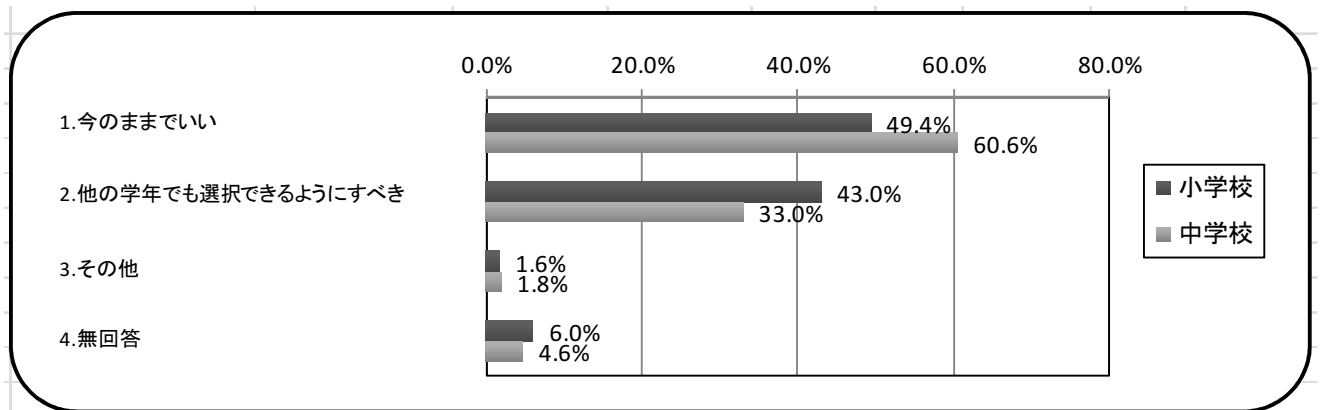
◎小学校では、「選択肢が広がり、より自分の個性に合った学校へ行けるから」が最も多く、約53%でした。

◎中学校では、「部活動の選択の幅が広がるから」が最も多く、約38%でした。

問8. 問5で「今より狭めた方がいい」と回答した方。理由は何ですか？

◎回答した4人のうち、「通学距離が短い学校が選択できればいいから」が2人、「多くの学校を選べると、1校に絞ることが難しいから」「その他」が1人ずつでした。

問9. 現在、選択できる学年は、クラス編成等の学校運営の関係から、入学する新1年生のみとしていますが、どう思いますか？

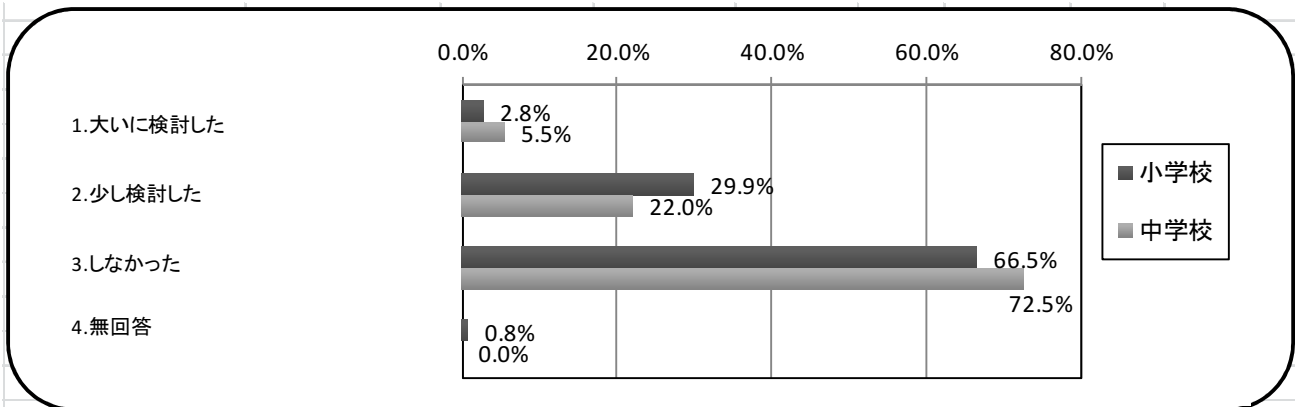


◎「今のままでいい」と回答した方が小中ともに最も多く、小学校で約49%（前回55%）、中学校で約61%（前回47%）でした。

◎次いで「他の学年でも選択できるようにすべき」と回答した方は、小学校で43%（前回40%）、中学校で33%（前回41%）でした。

前回調査（平成22年）に引き続き、「今のままでいい」という意見が「他の学年でも選択したい」という意見を上回りました。

問10. 入学前に、校区内外を問わず学校について検討してみたことがありますか？



◎「検討しなかった」と回答した方が小中ともに最も多く、小学校で約67%（前回約77%）、中学校で約73%（前回約71%）でした。

問11. 問10で「大いに検討した」、「少し検討した」と回答した方。

(1) 関心を持った学校は、どの学校ですか？

◎小学校では、「校区の学校」よりも「校区外の学校」の学校に関心を持った方が多く、約68%でした。

◎一方中学校では、「校区外の学校」よりも「校区の学校」に関心を持った方が多く、約53%でした。

(2) 具体的にどのようなことをしましたか？

◎小学校では、「友人・知人などから話を聞いた」が最も多く、約46%でした。

◎中学校では、「友人・知人などから話を聞いた」と「学校のホームページを見た」が最も多く、どちらも26%でした。

問12. 問10で「検討しなかった」と回答した方。理由は何ですか？

◎「指定校への入学を決めていたから」が小中ともに最も多く、小学校は約81%、中学校は約91%でした。

問13. 学校選択する場合、必要な情報は何だと思いますか？

◎小学校では「学校の見学」が、中学校では「学校の特色や様子がわかる学校説明会」が最も多く、どちらも約24%でした。

問14. 各小中学校では、「顔づくり事業」を始め、魅力づくり・特色づくりに取り組んでいますが、今通っている学校でどのような活動を行っているか知っていますか？

◎「よく知っている」「少し知っている」を合わせると、小学校で約37%、中学校で約40%でした。(前回 小学校約46%、中学校約32%)

◎「ほとんど知らない」「全く知らない」を合わせると、小学校で約62%、中学校で約60%でした。(前回 小学校約54%、中学校約67%)

問15. 問14で「よく知っている」と「少し知っている」と回答した方。

(1) どのような手段でそのことを知りましたか？

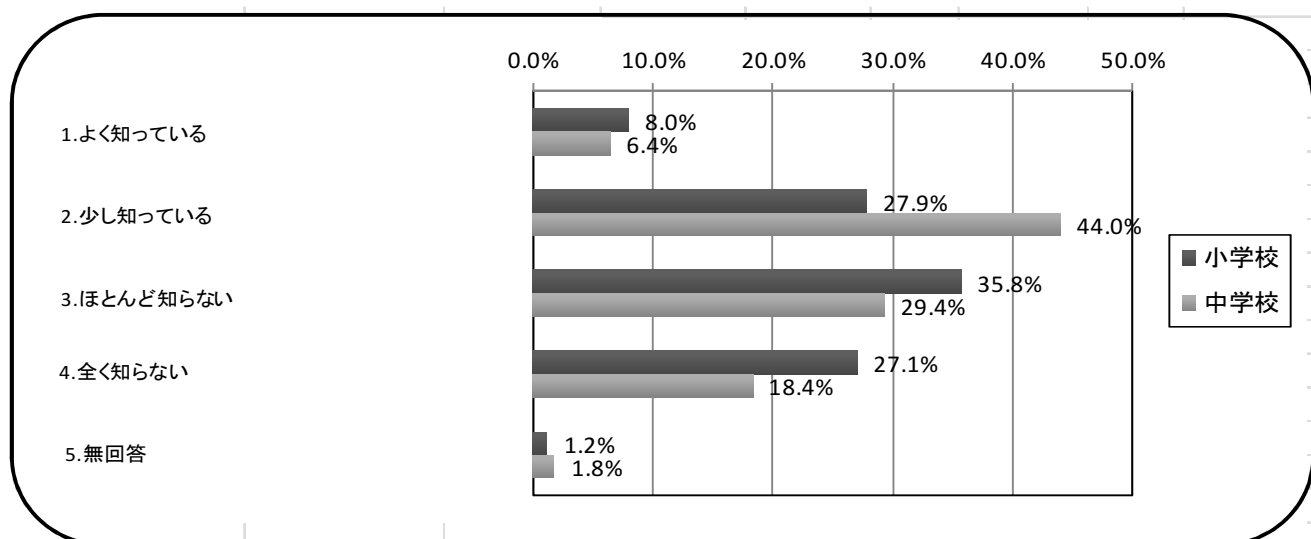
◎「学校通信」が小中ともに最も多く、小学校で約47%、中学校で約42%でした。

(2) 学校選択制を行ったことで、学校の魅力づくり・特色づくり活動は、以前より進んだと思いますか？

◎「大いに思う」と「少し思う」をあわせると、小学校で約27% (前回約31%)、中学校で約40% (前回約39%) でした。

◎一方で、「わからない」という方が小学校で約37% (前回約24%) に増えています。

問16. 学校選択制とは別に、やむを得ない相当な理由があれば校区外の学校へ通学できる制度（区域外通学制度）があることを知っていますか？



◎「よく知っている」と「少し知っている」をあわせると、小学校で約36%、中学校で約51%でした。

◎「ほとんど知らない」と「全く知らない」をあわせると、小学校で約63%、中学校で48%でした。

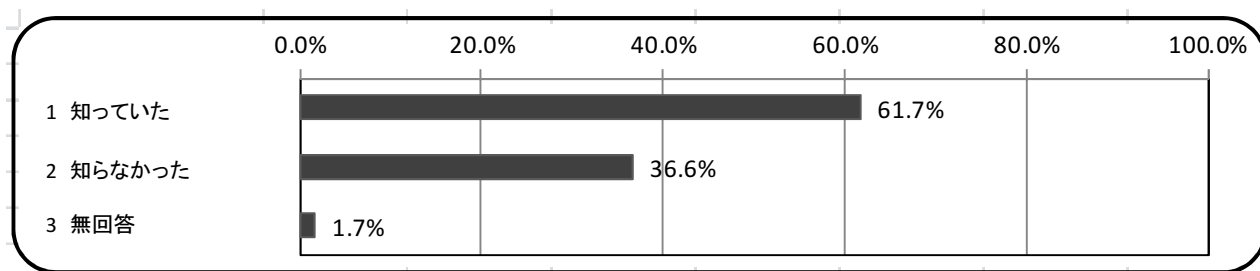
区域外通学制度の認知度は、小学校で4割、中学校で5割程度ということが分かりました。

問19. 学校選択制について、ご自身が思っていることを自由に記入してください。

◎小学校で41件、中学校で16件、合計で57件の意見が寄せられました。

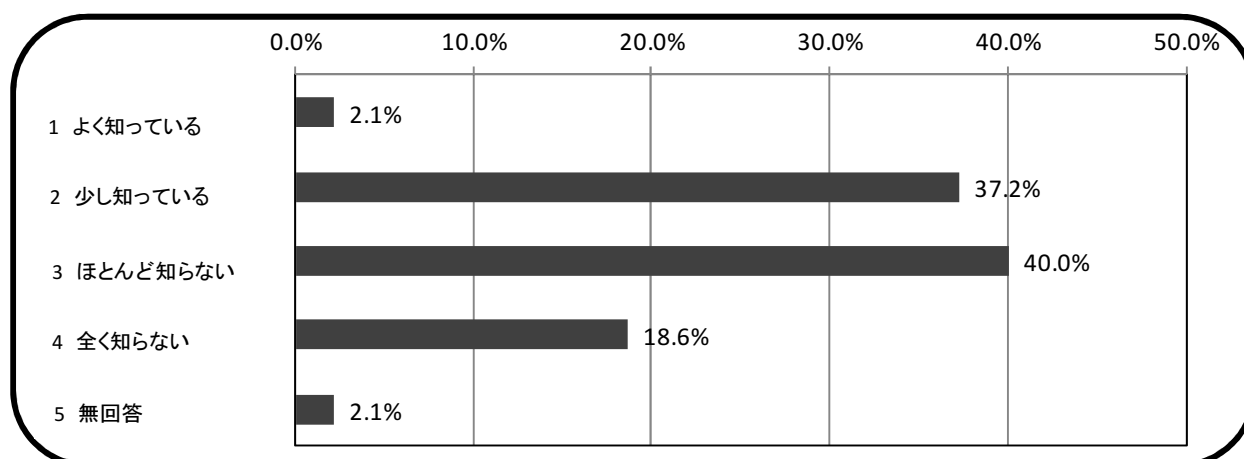
(3) 今後小学校に入学予定の子どもの保護者に対するアンケート〔資料4 1～4 8頁〕

問4. 江別市で学校選択制を導入していることを知っていましたか？



◎ 「知っていた」と回答した方は約62%でした。(前回調査時 約66%)

問5. 問4で「知っていた」と回答した方で、学校選択制の制度の内容(選択できる学校の範囲、
選択できる時期など)を知っていますか？



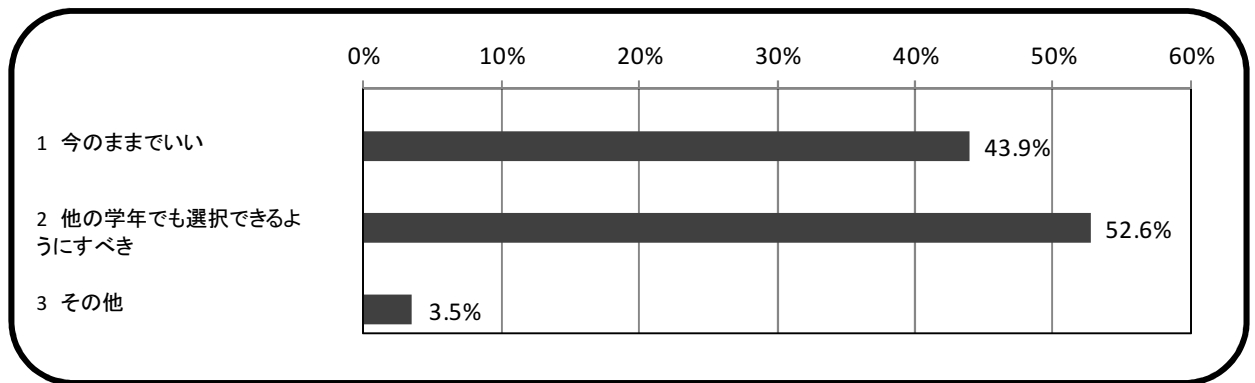
◎ 「よく知っている」と「少し知っている」をあわせると約39%でした。

◎ 「ほとんど知らない」と「全く知らない」をあわせると約59%でした。

江別市で学校選択制を導入していることは知っているものの、制度の内容まで知っている方は4割程度でした。

問6. 問5で「知っている」と回答した方に伺います。

(1) 選択できる学年は、小学校中学校に入学する新1年生のみとしていますが、どう思いますか？

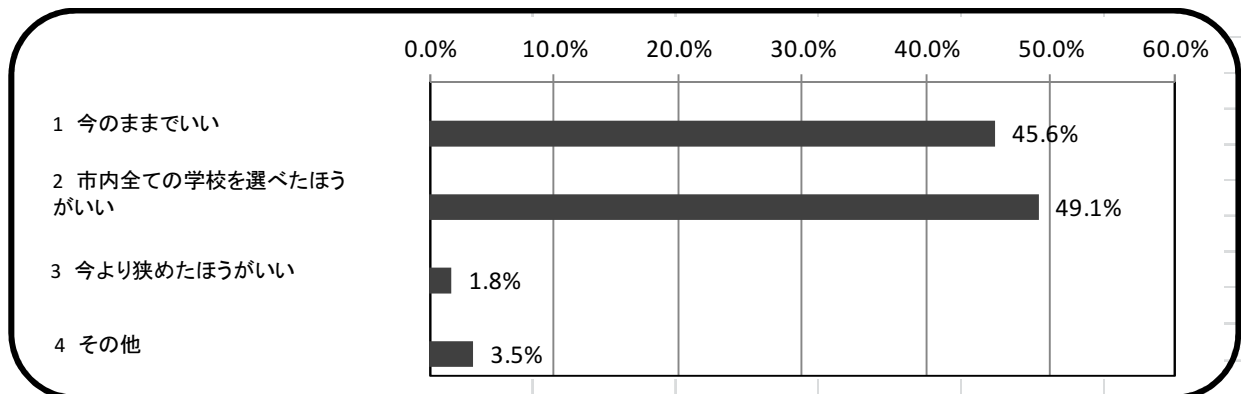


◎「今のままでいい」は、約44%（前回54%）でした。

◎「他の学年でも選択できるように」が最も多く、約53%（前回40%）でした。

選択できる学年の拡大を希望する方が、新1年生のみの取扱の継続を希望する方を上回りました。

(2) 選択できる学校の範囲は、校区と隣接する地域の学校（隣接校方式）としていますが、どう思いますか？



◎「今のままでいい」は、約46%（前回59%）でした。

◎「市内全てを選べたほうがいい」が最も多く、約50%（前回36%）でした。

選択できる学校の範囲の拡大を希望する方が、隣接校方式の継続を希望する方を上回りました。

問7. 問6(2)で「今のままでいい」と回答した方。理由は何ですか？

◎「実際に通学するうえで妥当な範囲だから」が最も多く、約57%でした。

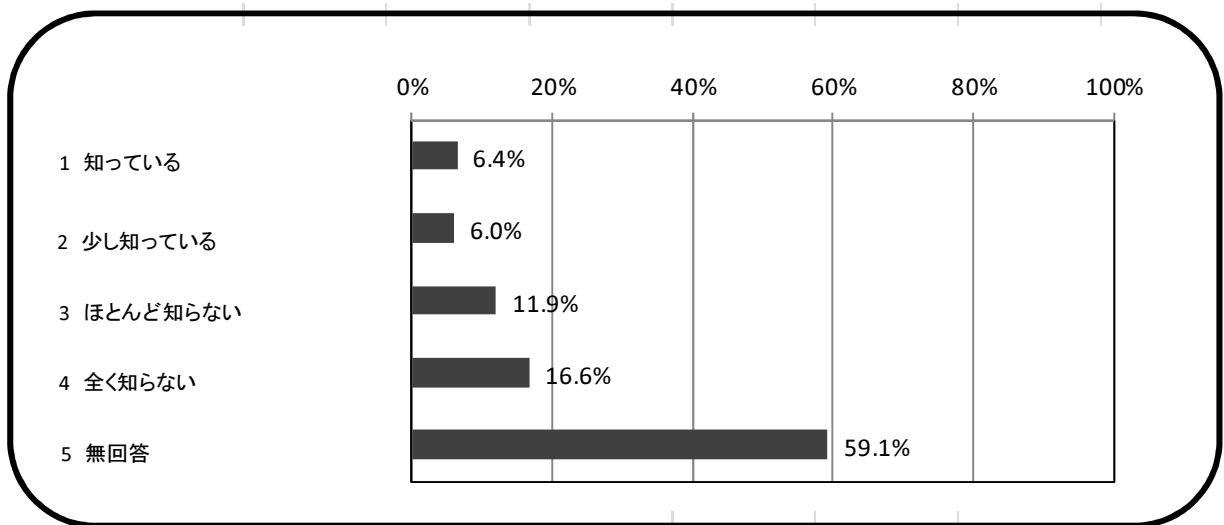
問8. 問6(2)で「市内全ての学校を選べた方がいい」と回答した方。理由は何ですか？

◎「選択肢が広がり、より自分の個性にあった学校へ行けるから」が最も多く、約52%でした。

問9. 問6(2)で「今より狭めた方がいい」と回答した方。理由は何ですか？

◎回答した1人の理由は、「多くの学校を選べると、1校に絞ることが難しいから」でした。

問10. 学校選択制とは別に、やむを得ない相当な理由があれば校区外の学校へ通学できる制度(区域外通学制度)があることを知っていますか？



◎「よく知っている」と「少し知っている」をあわせると、約12%でした。

◎「ほとんど知らない」と「全く知らない」をあわせると、約29%でした。

区域外通学制度を「知っている」と答えた方は1割程度しかいませんでした。(就学中の児童生徒の保護者では、4～5割)

問 1 1. お子さんが小学校へ入学する際、学校選択制あるいは区域外通学制度を利用して他の学校へ入学する予定はありますか？

◎「まだ分からない」と答えた方が最も多く、60%でした。

問 1 4. 学校選択制について、ご自身が思っていることを自由に記入してください。

◎全体で53件の意見が寄せられました。

(4) 学校選択制に関する学校アンケート〔資料49～61頁〕

※回答方法は、全て自由記述形式（回答内容により項目を分類しています）

問1. 学校現場における学校選択制のメリット、デメリットについてどうお考えですか？

(1) メリット

- | | |
|----------------------|-----|
| ①選択肢が広がる、魅力のある学校を選べる | 23件 |
| ②人間関係のトラブル解消 | 7件 |
| ③通学距離、安全面を考慮できる | 4件 |
| ④学校、保護者の変化 | 8件 |
| ⑤その他 | 10件 |

(1) デメリット

- | | |
|---------------|-----|
| ①通学上の問題 | 18件 |
| ②学校間格差の拡大 | 4件 |
| ③地域とのつながりの希薄化 | 15件 |
| ④学校運営上の問題 | 8件 |
| ⑤指導上の問題 | 9件 |
| ⑥その他 | 15件 |

問2. 選択できる学校の範囲を今の隣接校方式から、範囲を「広げた方が良い」という一部保護者の声がありますが、そのことについてどのようにお考えですか？

◎全体で55件の意見が寄せられました。

◎範囲を広げることについて「賛成」、「どちらかと言えば賛成」の意見は、13件（約24%）でした。

◎範囲を広げることについて「反対」、「どちらかと言えば反対」の意見は、42件（約76%）でした。

教職員では、隣接校方式からさらに範囲を広げることについて、反対の意見が7割以上であることが分かりました。

問3. 現在は、選択できる学年は翌年度小学校あるいは中学校に入学する新1年生ですが、「他の学年でも選択したい」という児童生徒と保護者の意見もあります。このことについてご意見をお聞かせください。

◎全体で52件の意見が寄せられました。

◎選択できる学年をさらに広げることについて「賛成」、「どちらかと言えば賛成」の意見は、12件（約23%）でした。

◎選択できる学年をさらに広げることについて「反対」、「どちらかと言えば反対」の意見は、40件（約77%）でした。

教職員では、選択できる学年をさらに広げることについて、反対の意見がおよそ8割であるということが分かりました。

問4. 学校選択制の導入により、「特色ある学校づくり」あるいは「地域一体型・学校の顔づくり事業」との関連で、これらを進めようという教職員の意識が高まったかどうか、ご意見をお聞かせください。

◎全体で31件の意見が寄せられました。

◎教職員の意識が「高まった」、「どちらかというが高まった」の意見は、7件（約23%）でした。

◎教職員の意識が「高まってない」、「どちらかというが高まってない」の意見は、24件（約77%）でした。

「特色ある学校づくり」や「地域一体型・学校の顔づくり事業」を進める上で、学校選択制は、直接関係ないと認識している教職員が多いことが分かりました。

問5. 学校選択制の導入により、保護者の学校運営に対する関心が高まったかどうかについて、感想、ご意見がありましたらお聞かせください。

◎全体で26件の意見が寄せられました。

◎保護者の学校運営に対する関心が「高まった」、「どちらかというが高まった」の意見は、11件（約42%）でした。

◎保護者の学校運営に対する関心が「高まっていない」、「分からない」の意見は、15件（約58%）でした。

学校選択制の導入により保護者の学校運営に対する関心が高まっていると感じている教職員の割合は、4割程度に増えています。（前回調査時は2割）

問6. 学校選択制の導入により、どのような変化（教職員、児童生徒、保護者など）が見られたかご自由にお書き下さい。

◎全体で29件の意見が寄せられました。

問7. 学校のPRなど情報発信の部分で学校側の努力課題あるいは市教委に何か要望がありましたら、お聞かせください。

◎全体で20件の努力課題、要望が寄せられました。

◎学校側の努力課題は10件でした。

<主な課題>

- ・学校の特徴や方針、地域性も理解してもらうための情報発信が必要である
- ・学校のホームページ等の工夫を行って、広く学校の特徴を発信する など

◎市教委への要望は10件でした。

<主な要望>

- ・学校選択制の案内の際には、学校を見学し、保護者の責任において学校を選択するという事を保護者に強く伝えてほしい。
- ・学校の統合問題や適正配置の関連について、保護者に確かな情報提供をお願いしたい。
- ・学校選択制のための説明会を別日程で実施したほうがよいと思う。

など

問9. 今後の学校選択制のあり方について、何かご意見等があればお書き下さい。

◎全体で23件の意見が寄せられました。